はじめに

南砺市教育長　松本謙一です。

南砺市利賀地域において、令和３年４月から開始した「南砺利賀みらい留学・長期コース」は２年目を終え、これまでに１期生１０名、２期生１３名の留学生を送り出しました。

３月２５日に行われた修園のつどいでは、一人一人が１年間を通して得た経験を自らの言葉で発表している姿に確かな成長を実感できました。中でも、１期からの継続生は個人体験の充実やリーダシップを発揮するなどの成果を挙げ、利賀での生活で得た自信に満ち溢れていました。

令和５年度は、１２名を迎え、３期長期コースが始まりました。子どもたちは新たな１年間、利賀の恵まれた環境を生かした自然体験、農作業体験、そして利賀小学校、利賀中学校に通い、まさに利賀地域の子供として新生活に胸をふくらませているところです。

長期コースでは１カ月のうち約２０日間を、拠点施設であるこのスターフォレスト利賀において、育てる会の指導員と寝食を共にしながら生活します。残りの約１０日間は、里親となる利賀地域の受入れ民家にホームステイをすることで、豊かな山村の暮らしの素晴らしさと大切さを学んでいきます。

さまざまな経験を積みあげることで、立派に成長していくことを期待するとともに、心温かい地域住民の方との交流を通して、利賀地域を「こころのふるさと」と思ってもらえるよう願っています。

おわりに、これから１年間大変お世話になります公益財団法人育てる会様、ＮＰＯ法人利賀山川まもる様、ホームステイの受け入れ家庭の皆さま等関係各位に重ねて感謝を申し上げます。そして、子どもたち、保護者の皆様、そして地域の皆様にとって魅力的な事業となりますよう願っています。

【活動日程】

4／5　入園のつどい
4／8　村内散策
4／9　茶碗づくり
　　受け入れ家庭対面式
4／15 デイキャンプ
4／16 青年団クリーン作戦参加
　　農作業
　　ふるさとマラソン参加

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp　／　WEB：http://www.nanto-toga.com/

4／5　入園のつどい

前夜から降っていた雨が上がり、今年も継続生 6 名に新たな留学生６名を加え、12 名で、南砺利賀みらい留学の第３期がスタートしました。

入園のつどいでは、地域の方や保護者の前で、一人ひとりが自己紹介のスピーチをし、「自然の中でたくさん遊びたい。」「人間関係を課題に頑張る。」等それぞれの思いを述べました。

今年度も１年間、どうぞよろしくお願いいたします。

4／8　村内散策

自分たちが住む利賀村で散策の活動を行いました。自分の足で歩き、道端の草花を見ることで、利賀村の春を体験しました。継続生が「この山菜、天ぷらにしたら美味しいんだよ。」と教えたり、草笛を披露したりして、新入園生たちは目を輝かせていました。

雨が降ったり止んだりという天気の中でしたが、各々レインウェアを着こみ、この日は留学センターからぐるりと芸術公園まで、約 12 ㎞を歩ききりました。利賀村の山菜を知るだけでなく、急な斜面の山道も登り、非常にワクワクする一日でした。

4／9　茶碗づくり

周辺地域の歴史・文化に触れる体験として留学生が 1 年間使う茶碗を自分で作りました。「越中三助焼窯元」の講師の方にお手本で教えていただいた時、留学生たちはその手つきに「魔法のようだ…。」と感心していました。実際にやってみると非常に苦戦しましたが、形や色に最後までこだわり、時折教えていただきながら作り上げました。焼き上がりが届いたら、それぞれ自分の茶碗を大切に使います。

自分は、ねんどで何かを作るのは、2 年生ぶりだったけど、なんとか作れました。作っている最中、他の人から、「上手！」って言われてうれしかったです。そして、茶碗だけでなく、はしおきも作りました。まよいにまよった結果、宇宙飛行士にしました。楽しかったです。（さとし）

4／9　受け入れ家庭対面式

雪が降った前日から一夜明け、晴天のもと、今年度お世話になる受け入れ家庭のお父さん・お母さんとの対面式を行いました。互いに自己紹介をした後、いよいよ割り振りの発表。「1 年間、よろしくお願いします。」と緊張した様子で握手を交わしていた子どもたちでしたが、家族写真の撮影時には談笑している姿が見られました。

最初のホームステイは 23 日からとなりますが、受け入れ家庭毎の各地区で獅子舞の練習に参加させていただくなど、早くもお父さん・お母さんや地域の方にお世話になっています。

名前が呼ばれるまでの間、どこの家庭に誰とホームステイするのか、とても緊張しました。小さい子がいる家庭なので、お手伝いをたくさんできるように頑張りたいです。（りお）

4／15　デイキャンプ

サバイバル体験の第一歩として、デイキャンプを行いました。薪用の木を集めるところから、継続生と新入園生の２人１組のペアで取り組みました。まだ慣れていない新入園生は「斧で大きい木はどう切るの？」「最初の木はどうやって組んで火を付けたらいいの？」と聞きながら、ペアごとに協力して昼食のハヤシライスを作っていました。留学生の中には、この活動が一番楽しかったという子もおり、やりがいのあるキャンプになったようです。

4／16　ふるさとマラソン大会参加

毎年恒例、地域のマラソン大会があり、留学生も参加しました。女子中学生と小学生は 3.0km、男子中学生は 7.6km 走りました。数名の留学生は、実際のコースを１週間ほど前から走り、練習を重ねて臨みました。

本番前は緊張している留学生がいましたが、皆しっかりと走りきることができました。達成感がありながらも、一部の留学生は「来年は１位を目指す。」「去年の速かった人のタイムを超えられなくて悔しい。」と既に来年に向けて新たな目標を考えていました。

保護者だより

「継続は力なり」という言葉があるが、２年目を迎える柚月は何を感じているのか。帰省中は不安と緊張が互い引きの如く頭に纏わりついている感じだった。小学３年生で山村留学を長野県で経験し、当時出来なかった事、やり切れなかった事に再び挑戦する為、門を叩いたのが一年前。中学生なんだから、こうあるべきだ、そうなるべきだと色々プレッシャーを感じていたに違いない。そして今度は継続生として後輩たちを・・・と、また違ったプレッシャーを感じていることだろう。

山村留学は最高鮮度の『初めて』を大量に与えてくれるものだと私は思う。同時に親は親で視野が広がり、融通の利かない概念を砕いてもらい、恥ずかしながら学ばせて頂いているのが現状。

さて、今年度柚月は何を学び、何を満たせるだろうか。同い年の仲間が増えて嬉しさに浮かれているが、本人は気が付いているのか。もう地元で「私、学年で２位取ったよ！」蓋を開ければ「ビリやないかい！」のネタは微妙になることを。。。

更に本人は気が付いているのか。父は職権乱用覚悟の上、将来本気で和太鼓奉納法要を計画していることを。。。山留生の演目は格好良い。それ以上の理由はない。娘を格好良くしてくれる指導員の皆様、地域の皆様、富山の土地に感謝の念が尽きることは無い。

みらい留学農事歴

4/16（畑)苗づくり

【田んぼ】４月は、稲の苗づくりと田起こしを行う予定です。稲の苗づくりは、当番の人で水温の管理をしながら芽だしをし、16 日に行う予定でしたが、育苗用の土のふるい掛けが雨のためできませんでした。22 日に田起こしを行うので、その時に、合わせて苗づくりを行いたいと思います。

【畑】今年度最初の畑作業は、ナス科の野菜やオクラの種などをポットにまきました。「このくらいかなあ？」と深さや種の数を確認しながら丁寧に。当番の人が水をやり見守っていますが、また寒い日が続いているため、発芽はまだ先になるかもしれません…。

くま爺のつぶやき・・・

統括主幹　山本 光則

山村留学の４月は慌ただしい。親元離れた子どもたちは身の回りのことは自分行い、集団での生活ルールを学び学校に通う。休日は農作業や自然体験、薪で昼ごはんを炊くこともある。そんな多忙な中ではあるが５月連休に各地区で春祭りがあり、獅子舞等の練習に参加するため、急いで夕食を済ませお風呂を後回しにしても出かけるようにしている。

私は入園から一週間後に４人の子どもと坂上地区の獅子舞の練習に参加した。長年お祭りとかかわる地元の子どもや孫とは異なり、山村留学生は経験不足、雰囲気を味わう程度で獅子舞の行列について歩くことで終わってしまうのかもしれないのだが、若い衆が優しく熱心に教えてくださった。

子どもたちはすっかり祭りの虜になった。センターに帰ってからも獅子取りの所作や太鼓笛の練習に余念がない。長い間受け継がれている伝統文化の凄さとそれにふれる機会がある利賀村に感謝したい。